

利用しやすい学童保育の拡充のため 補助金の増額等を

佐竹 百里

等の問題が考えられる。この学童保育が利用しづらい現状は、男女共同参画の妨げになり、少子化問題を悪化させる要因にもなる。そこで、学童保育に関する特定財源の確保や補助金の増額等を行う考えは。

近年、核家族化と女性の社会進出により、留守家庭児童の増加現象が見受けられる。このような社会現象に対し、市では、児童の健全育成施策の一つである放課後児童健全

資源化ごみ収集への市民の積極的な参加のために

神奈川ネット 渡部 市代

問 男女共同参画社会実現のためには、意識啓発と同時に女性が各分野に進出できるための環境整備が何より急がれるべきであり、仕事と子育ての両立支援として学童保育の抜本的な拡充が重要である。現在、小学校入学後は、保育園に通っていた子ども達の約六三%しか学童保育を利用していない。この理由としては、費用面、施設面、定員数又は指導者

問 昭和五十八年から始めた資源化ごみの分別収集は、収集日に衛生指導員が輪番制で立ち、その謝礼金が自治会に支払われ、その上資源収集に対して奨励金も出ている。このことで、きめ細やかな指導ができ中

立ち当番を慣例化せず、中期的に謝礼金の必要性も再考すべきでは。問 コスト削減などのメリットは理解できるが、分別収集も二十年を経過し、日常化され成熟化も進んでいる。近年の高齢化や女性の社会参加の増加に伴う朝当番の負担、また自治会の加入率の低迷、さらに地方財政緊縮下での税金の使い道を考える時、

立ち当番を慣例化せず、中期的に謝礼金の必要性も再考すべきでは。答 現在、ごみ減量化の施策として、五〇%削減の目標を達成するために徹底した分別収集が求められているが、ごみの搬出に関しては申し



7月19日の夕暮れ時、ふれあいナイトウォークラリー大会に参加した116チームが、ゴールを目指し元気よくスタートして行きました。市役所前広場に、



市民生活にかかわりの深い 窓口業務の土日開庁を

公明党 矢部とよ子

問 本市の中心核づくりも進展し、人口も微増ではあるが毎月増加している。転入などの際は市役所での手続きが必要だが、核家族化や女性の社会進出により、市民は、平日に休暇を取らなければ来庁できない。住民票や印鑑証明書等は電話予約や郵送での利用も可能だが、土曜・日曜を返上して働いている民間などでは、

予約による住民票、印鑑証明書の交付を土曜・日曜に行っている。市民生活にかかわりの深い窓口業務を土曜・日曜に実施するためには、戸籍

や年金など関係機関に連絡確認を行わないとできない業務と、職員と機械が稼働していればできる業務を精査する必要がある。また、職員の勤務体制や費用対効果なども十分に検討する必要もあり、今後、先進市の状況などを参考に調査研究を進めるとともに、電話での事前予約による交付業務のPRに努めていく。(他に「地域に届け込む学校施設について」を質問)

未利用の県営住宅用地に 地域活動施設等の建設を

新政治家 綱嶋 洋一

問 今や地域社会の枠組みは、地域共同体から個人へと変化し、従来の地域社会のあり方からかけ離れたところがある。このことは、現在、私たちの抱えている少子高齢化問題などの一因として大きく関わっていると思ふ。これからは、地域社会の再生・形成・保護が必要であり、それには行政の積極的な支援と地域活動の拠点となる施設を市内にバランスよく配置することが必要である。ついでに、現状において施設の不足や不便を感じている小園や深谷大土地区には、未利用の県営住宅用地があるが、これを活用して高齢者施設や育児支援施設等を建設できないか。

答 小園の県営住宅予定地については、昨今の厳しい県財政状況から建設の目的がたない中、地元から市が借用し緑地として開放できないかという要望があり県と協議している。県は、あくまで有償であるなど条件等が厳しい状況であるが、引き続きよりよい方向で努力していく。深谷大上の県営住宅跡地については一部を無償で借用し柳川広場として活用しているが、地元の意向を踏まえ残りの借用もできないか働きかけていく。なお、県からの借用条件は空地のまま利用することとなっており、市や地域で施設等を建設することは現実的に困難な状況である。

十万人都市を目指し魅力ある街となるその時期は

清水 勝利

問 新時代あやせプラン21は、市の中心、市の顔をつくり、企業や住民を増やす計画である。この基礎条件に、人口は、あと七年で九万二千人、平成三十二年には十万人とある。しかし、平成五年からの十年間における人口の増加は、わずか千四百十六人であり、近隣市と比較しても少ない状態である。厚生労働省の発表によると、あと三年で日本の人口はピークを迎え、その後は減少していくとある。これからのシナリオとして、魅力ある街となつて、人々が集まってくるのは具体的にいつか。答 新時代あやせプラン21の策

定に向け、出生、死亡、タウンセンター計画による人口増等を予測し、将来人口を推計した。平成三十二年に概ね十万人を想定し、自然と文化の薫るふれあいのまちの都市像に向け、活気ある方向に進んでいる。パブルの崩壊や出生率の低下により現在の人口は若干下回っているが、センター区の中核をなす複合商業施設の建設着手や、緑のネットワーク化を図る城山公園や(仮称)中央緑道等の整備を進め、人々が集いふれあつまちづくりを目指していく。(他に「新交通システムについて」「東名綾瀬インターについて」「城山公園湿生園について」「市の催し物について」を質問)

詳しい内容は『会議録』で

市議会報あやせでは、定例会や臨時会の概要をお知らせしています。市議会では、本会議の発言内容を記録した「会議録」を作成しています。会議録は議会事務局のほか、市立図書館、市役所

内情報公開コーナーに備えてありますので、詳しい内容を知りたい方は、ご利用ください。なお、五月臨時会及び六月定例会の会議録は、九月上旬にできる予定です。